

## 基本目標7 男女共同参画についての理解の促進

「女性だから、男性だから」と性別で役割を固定するのではなく、あらゆる人々が自分らしい生き方を選択できるよう、男女平等や男女共同参画の重要性について理解を深めるための施策を進めます。

### 施策の基本的方向・具体的施策・施策内容

#### 16 固定的な性別役割分担意識の解消

(41) 男女共同参画推進のための広報・啓発活動の充実

108	広報誌や市のホームページ、新聞・テレビ等のメディアを活用し、「男女共同参画週間」「男女雇用機会均等月間」「人権週間」等、あらゆる機会をとらえて、広報・啓発活動を強化します
109	男女共同参画についての啓発資料を作成し、提供します。作成については改善を繰り返し、より市民に男女平等・男女共同参画の意識が根付くよう工夫します
110	地域団体と連携して、意識啓発のための講座等を開催します
111	市民や市民活動団体等と協働して講座や研修、啓発紙等の制作、それを活用した学習の場の提供を推進します

(42) 市職員・教職員に対する研修の充実

112	市職員・教職員が男女共同参画の視点に配慮した施策の推進を図るよう、研修や啓発、情報提供を充実します
-----	---

#### 17 メディアを活用した男女共同参画の推進

(43) 多様な媒体による広報や啓発の充実

113	男女共同参画の視点に配慮した広報誌やホームページ等を充実します
114	市刊行物において、固定的な性差観にとらわれない、人権尊重の表現を推進します
115	市民や地域団体・市内事業所等が男女共同参画の視点に配慮した表現について学べる機会の提供を推進します

(44) 情報教育の推進

116	インターネット等メディアの利用による性被害等にあわないために、学校教育、社会教育等を通じて、情報処理・情報発信能力をつけるとともに、情報を主体的に収集・判断等できる能力（メディア・リテラシー）を育みます
117	中高年層や生活に困難を抱える人々を対象に、情報化の進展に主体的に対応できる能力を育成し、情報格差を解消します

#### 18 男女共同参画に関わる調査・研究と情報収集・提供

(45) 男女共同参画に関する調査・研究、情報収集の充実

118	男女共同参画に関する意識や実態、取組状況等について継続的に調査・分析を行います
119	男女間の格差や不平等の実態を把握し、その解消を図るとともに、施策に役立てるため、男女別データを収集します
120	統計や調査・研究結果を各種媒体により提供します

(46) 男女共同参画に関する情報提供機会の充実

121	ローズWAMや図書館等が連携し、男女共同参画に関する各種資料に親しめる機会を充実します
122	国際的な視点に立った男女共同参画に関する資料の収集と情報提供を推進します
123	情報通信技術（ICT）を活用した男女共同参画資料等を提供します

施策の基本的方向16 固定的な性別役割分担意識の解消

(具体的施策 41)男女共同参画推進のための広報・啓発活動の充実

	施策内容	令和3年度の実施内容	取組に対する評価と今後の課題等	令和4年度 の方向性	第3次計画 (R6～R9) における方 向性	⇒左記を選択した理由や今 後5年間の方針、目標等	担当課
108	広報誌や市のホームページ、 新聞・テレビ等のメディアを 活用し、「男女共同参画週 間」「男女雇用機会均等月 間」「人権週間」等、あらゆる 機会をとらえて、広報・啓 発活動を強化します	男女共同参画週間にあわせて、男女共同参画講演会を開催した。 〔内容〕「スポーツとジェンダー～スポーツが教えてくれたこと～」 〔実施日〕令和3年7月31日 〔参加人数〕会場81人、オンデマンド視聴回数151回	男女共同参画講演会のアンケートからは、受講者が語られた問題についてしっかりと考えておられることが伝わり、「ジェンダー問題の啓発」という当初の目的は達成された。今後は、広報活動を工夫し、若年層の参加を促す必要がある。	継続	継続		人権・男女共生課
		「女性に対する暴力をなくす運動」に合わせ、啓発を行った。 【再掲 施策番号45】	虐待・DV相談のラッピングをした阪急バス及び近鉄バスが市内を走ることで、期間を問わず幅広い市民に啓発することができた。	継続	継続		人権・男女共生課
		人権週間に合わせて人権を考える市民のつどいを開催し、人権意識の普及・高揚を図った。 人権を考える市民のつどい 〔実施日〕12月22日 〔参加者〕211人 視聴回数延べ2,440回 視聴回数延べ2,440回 【テーマ】自分の命は自分だけのものではない 〔講師〕堀 ちえみさん（タレント）	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場入場については収容数の半数とした。同時にオンライン配信を実施したが、2,000回を超える視聴回数となったこと、講演内容及び配信方法とも概ね高い評価を得られたことから、啓発効果の高い講演会となった。今後もタイムリーな人権課題をテーマに、啓発手法にも工夫しながら実施していく。街頭啓発は、感染拡大防止のため中止とした。	継続	継続		人権・男女共生課
		広報誌・ホームページ等を活用し、市内事業所に対して啓発活動を実施した。キャンペーンはコロナウイルス感染症対策のため中止  〔実施事業名〕啓発リーフレット作成 〔作成部数〕 1,300部  〔実施事業名〕人権問題企業研修会 〔実施日〕令和3年6月29日 〔参加者〕14人 〔テーマ〕「公正な採用選考の理解と遵守にむけて」	広報誌・ホームページ等を活用し、市内事業所に対して啓発活動を実施する。	継続	継続		商工労政課
109	男女共同参画についての啓発資料を作成し、提供します。 作成については改善を繰り返して、より市民に男女平等・男女共同参画の意識が根付くよう工夫します	男女共同参画に関する冊子等を発行し、啓発を行った。 【再掲 施策番号13】	WAM通信については、より充実した情報提供を行うため、専門家等に原稿の執筆の依頼等について検討する。また、より多くの人に周知できるように、市公式総合アプリやSNSを活用するなど、情報発信を工夫する。	拡充	継続		人権・男女共生課
110	地域団体と連携して、意識啓発のための講座等を開催します	自治会や地域活動について、自治会連合会と連携し、シニアカレッジ「いこいこ未来塾」で講座を行った。 日時：令和4年1月23日（日） 対象：「いこいこ未来塾」 地域はつらつ活動コース 受講者15名 テーマ：地域活性化の事例を学ぶ 講師：茨木市自治会連合会会長 市民協働推進課職員	茨木市の地域活動について、シニアカレッジ「いこいこ未来塾」で茨木市自治会連合会と連携して講義を行い、地域活動の現状や取組について説明し、地域活動への意識啓発を行っている。今後も継続して地域活動の参画の一助として、推進する。	継続	継続	茨木シニアカレッジと連携することで、受講生の中には、「今後は地域活動にも関心を持って参加していきたい」という意見もあり、地域活動の活性化に向けた取組みとして一定の効果があると感じているので、継続していきたい。	市民協働推進課
		男女共同参画に取り組む市民団体の活動を支援した。 【再掲 施策番号100】	チャレンジ企画やジョインと企画、WAMcafe企画を通して、男女共同参画社会の推進に取り組む団体を支援し、団体活動の活性化を図る。	継続	継続		人権・男女共生課
111	市民や市民活動団体等と協働して講座や研修、啓発紙等の制作、それを活用した学習の場の提供を推進します	男女共同参画社会推進登録団体の活動を支援した。  男女共同参画に取り組む市民団体の活動を支援した。 【再掲 施策番号100】	チャレンジ企画やジョインと企画、WAMcafe企画を通して、男女共同参画社会の推進に取り組む団体を支援し、団体活動の活性化を図る。今後は、大学等と連携することで、若年層の視点を取り入れた事業を実施する。	継続	継続		人権・男女共生課

(具体的施策 42)市職員・教職員に対する研修の充実

	施策内容	令和3年度の実施内容	取組に対する評価と今後の課題等	令和4年度 の方向性	第3次計画 (R5～R9) における方 向性	⇒左記を選択した理由や今 後5年間の方針、目標等	担当課
112	市職員・教職員が男女共同参 画の視点に配慮した施策の推 進を図るよう、研修や啓発、 情報提供を充実します	市職員を対象に、男女共生研修を実施した。 【再掲 施策番号12】  市職員を対象に、ハラスメント研修を実施した。 【再掲 施策番号60】	研修の実施により、男女共同参画意識の醸成を図ることができた。継続して実施する。	継続	継続	研修や啓発、情報提供により、男女共同参画意識のさらなる醸成に、継続して取り組む必要があるため。	人事課
		教職員に対して、人権研修を実施した。 支援教育校長・教頭研修 〔実施日〕令和3年11月16日 〔対象〕市立小中学校 校長・教頭 〔テーマ〕支援教育について	教職員に対しての人権研修を実施することで人権意識を向上させることができた。しかし、研修を受けていない教職員に対しての啓発が不十分などが課題である。	継続	継続		学校教育推進課
		人権教育校長研修 〔実施日〕令和3年4月27日 〔対象〕市立小中学校校長 〔テーマ〕同和問題 人権教育教頭研修 〔実施日〕令和3年5月14日 〔対象〕市内小中学校教頭 〔テーマ〕セクシュアル・ハラスメントの防止について	教職員に対しての人権研修を実施することで人権意識を向上させることができた。しかし、研修を受けていない教職員に対しての啓発が不十分などが課題である。	継続	継続		学校教育推進課
		人権教育研修A・B・C・D 〔実施日〕A令和3年5月25日 B令和3年6月18日 C令和4年1月28日 D令和4年2月18日 〔対象〕市内すべての教職員 〔テーマ〕A「いじめの未然防止について」B「集団づくりで大切にしたいこと」C「ジェンダー平等」D「在日外国人教育」	教職員に対しての人権研修を実施することで人権意識を向上させることができた。しかし、研修を受けていない教職員に対しての啓発が不十分などが課題である。	継続	継続		学校教育推進課
		茨木市人権教育夏季研究集会 〔実施日〕令和3年7月26日 〔対象〕幼・小・中学校園教職員 〔テーマ〕「ジェンダー平等について」	教職員に対しての人権研修を実施することで人権意識を向上させることができた。	継続	継続		学校教育推進課
		茨木市新転任人権教育研修会 〔実施日〕令和3年6月28日 〔対象〕市内小中学校 新転任教職員 〔テーマ〕「同和問題・同和問題学習」	教職員に対しての人権研修を実施することで人権意識を向上させることができた。	継続	継続		学校教育推進課
		いじめ不登校シンポジウム 〔実施日〕令和4年1月 〔対象〕市立小中学校初任者教員及び2年目教員 〔テーマ〕「いじめの初期対応から組織対応」について	経験の浅い教職員を対象にいじめの対応や組織での対応、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー活用等の必要性等について理解を深めることができた。	継続	継続		学校教育推進課
		子ども人権フォーラム（中止） 〔実施日〕令和4年1月21日 〔対象〕市立小学校 児童・保護者・教職員 〔テーマ〕人権作品審査会入選作品の発表と人権意識啓発のための講話	中止。再度同じテーマで実施予定。	継続	継続		学校教育推進課
		教育課題別研修で、人権教育研修をテーマ別に実施し、教職員の人権教育に対する意識の向上に務めた。 〔内容〕 ①同和問題 ②集団づくり ③男女平等教育 ④在日外国人教育 ⑤LGBTQ教育のありかた	社会の変化に伴う価値観の多様化の中で、教職員が人権教育の重要性に対する認識を高め、子どもたちの人権感覚を育むことができるよう研修を実施することができた。今後も、継続して取り組んでいく。	継続	継続		教育センター

施策の基本的方向17 メディアを活用した男女共同参画の推進

(具体的施策 43) 多様な媒体による広報や啓発の充実							
	施策内容	令和3年度の実施内容	取組に対する評価と今後の課題等	令和4年度 の方向性	第3次計画 (R5~R9) における方 向性	⇒左記を選択した理由や今 後5年間の方針、目標等	担当課
113	男女共同参画の視点に配慮した広報誌やホームページ等を充実します	広報誌等において、各課と連携しながら、男女共同参画の視点に配慮した表現やイラストを使用した。	引き続き男女共同参画の視点に配慮した広報誌づくり等に努める。	継続	継続		まち魅力発信課
114	市刊行物において、固定的な性差観にとらわれない、人権尊重の表現を推進します	広報誌や、市民ハンドブックの作成において、固定的な性差観にとらわれない表現に配慮した。	引き続き刊行物を発行する際は、固定的な性差観にとらわれない表現に配慮する。	継続	継続		まち魅力発信課
		性差観にとらわれない表現の周知を図るため、市ホームページに表現に関する冊子を掲載し、男女の役割分担にとらわれない表現を推進した。	性差観にとらわれない表現については、今後とも周知が必要であることから、継続して実施する。	継続	継続		人権・男女共生課
115	市民や地域団体・市内事業所等が男女共同参画の視点に配慮した表現について学べる機会の提供を推進します	市民活動センターのホームページや広報誌(きずな)において、センターの事業内容や市内で活動する団体等のイベント情報を紹介し、市民活動に参加・参画するための情報提供に努めた。また、市民活動センターや、地域コミュニティの中核であるコミュニティセンターのスタッフにも人権・男女共生課主催の講座等に参加してもらうなど、人権意識の向上に取り組んだ。	市民活動センターのホームページや広報誌(きずな)において、センターの事業内容や市内で活動する団体等のイベント情報を紹介し、男女問わず、市民活動への参加・参画や学べる機会の提供に努めるとともに、施設管理スタッフの人権意識の向上にも努めた。今後も継続した実施に努める。	継続	継続	市民活動センターのホームページや広報誌(きずな)、SNS等を用いた広報を充実させながら、市内の市民活動についての情報提供を行うことで、市民活動への参加・参画や学べる機会の提供を行う体制を継続していきたい。	市民協働推進課
		市内中学校から授業で男女共生センターについての講義の依頼があったため、職員を派遣し講義を行った。	本市の男女共同参画の取組や男女共生センターの役割について伝えることができた。今後とも依頼があれば積極的に実施したい。	継続	継続		人権・男女共生課
		ホームページを活用し、市内事業所に対して、男女共同参画の視点に配慮した表現について啓発・情報提供を行った。	ホームページ等を活用し、市内事業所に対して、男女共同参画の視点に配慮した表現について啓発・情報提供に努める。	継続	継続		商工労政課

(具体的施策 44) 情報教育の推進							
	施策内容	令和3年度の実施内容	取組に対する評価と今後の課題等	令和4年度 の方向性	第3次計画 (R5~R9) における方 向性	⇒左記を選択した理由や今 後5年間の方針、目標等	担当課
116	インターネット等メディアの利用による性被害等にあわないために、学校教育、社会教育等を通じて、情報処理・情報発信能力をつけるとともに、情報を主体的に収集・判断できる能力(メディア・リテラシー)を育みます	情報処理能力向上及びメディアリテラシーの向上を図るため、パソコン等の講座を実施した。 ○パソコン講座 〔実施回数〕16回(豊川1回、総持寺15回) 〔参加者〕延べ87人(豊川14人、総持寺73人) 〔実施場所〕豊川・総持寺のち・愛・ゆめセンター  ○スマートフォン講座 〔実施回数〕2回(豊川1回、沢良宜1回)、 〔参加者〕20人(豊川6人、沢良宜14人)、 〔実施場所〕豊川・沢良宜のち・愛・ゆめセンター	高齢者のニーズに合わせて、Zoomの使い方、LINEの使い方という初歩から学べる講座を用意して、受講者には、好評を得た。市が開催していることで、高齢者にも安心して受講いただいた。苦手として敬遠していた市民にも、情報リテラシーが向上するよう寄与できた。スマホが使える前提の社会になっており、困っている高齢者は、まだまだいる中、捨てていけるよう、引き続き企画するとともに、高齢者のスキルにかなり差があるため、講座内容の一部見直しが必要である。また、親子で体験できるプログラミング講座を引き続き実施した。	継続	継続		人権・男女共生課

116	インターネット等メディアの利用による性被害等にあわないために、学校教育、社会教育等を通じて、情報処理・情報発信能力をつけるとともに、情報を主体的に収集・判断等できる能力（メディア・リテラシー）を育みます	1人1台端末が配備され、端末の使い方等も含め全小・中学校において、情報モラルの育成に努めた。教職員を対象に情報教育研修を実施した。（回数：13回 参加人数：454人 学校情報化担当者会を含む）学校情報化推進校（市内4校）で、情報モラル教育・情報活用能力について研究・実践を行い、取組みの成果等を学校情報化担当者会で共有したり、教育センターフォーラム（動画視聴）で市内へ発信した。	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、オンラインを使用したリ、会場を分けたりと可能な限りの研修を実施した。今後も充実した研修を実施するとともに、市内の取組みの共有・発信を行っていく。	継続	継続	教職員の情報モラル教育・活用能力の指導力向上を図る。	教育センター
117	中高年層や生活に困難を抱える人々を対象に、情報化の進展に主体的に対応できる能力を育成し、情報格差を解消します	ワード、エクセル等の活用に関するきらめき講座に加え、タブレット講座やzoom講座を実施し、情報化に対応できる能力を育む機会を提供した。	講座の開講により、能力の育成に寄与することができた。引き続き、生涯学習の取組を通じて、情報化に対応できる能力を育む機会を提供するように努める。	継続	継続		文化振興課
		情報処理能力向上及びメディアリテラシーの向上を図るため、パソコン等の講座を実施した。 【再掲 施策番号116】	高齢者のニーズに合わせて、Zoomの使い方、LINEの使い方という初歩から学べる講座を用意して、受講者には、好評を得た。市が開催していることで、高齢者にも安心して受講いただいた。苦手として敬遠していた市民にも、情報リテラシーが向上するよう寄与できた。スマホが使える前提の社会になっており、困っている高齢者は、まだまだいる中、拾っていきけるよう、引き続き企画するとともに、高齢者のスキルにかなり差があるため、講座内容の一部見直しが必要である。また、親子で体験できるプログラミング講座を引き続き実施した。	継続	継続		人権・男女共生課
		誰もが読み書きできる社会の実現を目指して、生活の場で読み書きに不自由されている成人を対象に、「識字学級・日本語教室」を開設した。 【再掲 施策番号86】	コロナ禍においても、オンラインや通信添削等を取り入れることにより、地域の実情に応じた講座を実施し、地域住民に学習機会を提供することができた。引き続き、各館それぞれにおいて、新しい生活様式を踏まえた上で、講座内容に趣向を凝らし、学習ニーズを満たせるよう検討するとともに、技能実習生受け入れ拡大に伴う受講希望者の増加に対応する方策を研究していく。	継続	継続		社会教育振興課

施策の基本的方向18 男女共同参画に関わる調査・研究と情報収集・提供

(具体的施策 45) 男女共同参画に関する調査・研究、情報収集の充実							
施策内容	令和3年度の実施内容	取組に対する評価と今後の課題等	令和4年度 の方向性	第3次計画 (R6～R9) における方向性	⇒左記を選択した理由や今後5年間の方針、目標等	担当課	
118 男女共同参画に関する意識や実態、取組状況等について継続的に調査・分析を行います	男女共同参画計画に基づく「男女共同参画計画推進状況報告書」を作成し、公表した。 〔発行数〕70部 〔送付先〕関係課、関係機関、男女共同参画推進登録団体 〔公表方法〕市ホームページ、市内ネットワーク「いこねっと」	推進状況報告書を作成することで、各課が男女共同参画の視点を持って事業を実施し、またその取組について具体的にどのような課題があるのかわかるが、担当課によって意識の違いがあるため、今後も男女共同参画の視点の重要性について各課に働きかけていく必要がある。	継続	継続		人権・男女共生課	
119 男女間の格差や不平等の実態を把握し、その解消を図るとともに、施策に役立てるため、男女別データを収集します	男女共同参画に関するデータ等について、国・府・マスメディア等からの情報の収集に努めた。	今後とも情報収集に努め、男女間の不平等の実態を把握し、その解消を図るための施策の立案に努める。	継続	継続		人権・男女共生課	

120	統計や調査・研究結果を各種媒体により提供します	各種統計調査や市の人口・世帯数などのデータを、ホームページや茨木市統計書を通して情報提供した。	各種統計調査の結果や市の人口・世帯数などのデータを、ホームページや茨木市統計書にて公表した。資料作成にあたり非開示情報が増え、今後どのように統計書の充実を計るかが課題。	継続	継続	各方面で指標となる資料として統計書の内容充実を計っていく。	総務課
		男女共同参画計画に基づく「男女共同参画計画推進状況報告書」を作成し、公表した。 【再掲 施策番号118】	推進状況報告書を作成することで、各課が男女共同参画の視点を持って事業を実施し、またその取組について具体的にどのような課題があるのかがわかるが、担当課によって意識の違いがあるため、今後も男女共同参画の視点の重要性について各課に働きかけていく必要がある。				人権・男女共生課

(具体的施策 46) 男女共同参画に関する情報提供機会の充実

	施策内容	令和3年度の取組内容	取組に対する評価と今後の課題等	令和4年度の方向性	第3次計画(R5~R9)における方向性	⇒左記を選択した理由や今後5年間の方針、目標等	担当課
121	ローズWAMや図書館等が連携し、男女共同参画に関する各種資料に親しめる機会を充実します	ローズWAMにおいて、男女共同参画に関する情報の収集、活用、提供を行った。 〔内容等〕・収集資料 (令和4年3月31日現在) 図書 7,208冊 雑誌 1,174冊 ビデオ・DVD104点  ・貸出状況 令和3年度貸出数4,889点 図書 4,040冊 雑誌 833冊 啓発AV資料 16点	コロナ禍による施設の利用制限も影響し、図書等の貸出件数は減少している。 SNSでの本の紹介を行うほか、講座等と連動した本の特集展示を行うなどして、図書の利用を促進した。	継続	継続		人権・男女共生課
		図書館のブックスタートの候補本のひとつとして「へんじじゃないもん！」を紹介し、配布した。 (配布冊数) 1冊	ブックスタートでは、絵本を紹介することで、資料に出会う機会を継続して設けた。男女共同参画についての特集コーナーの設置はできなかったが、今後図書館資料を活かした取組を検討する必要がある。	継続	継続	継続して連携を図り、男女共同参画に関する各種資料に親しめる機会を充実させる。	中央図書館
122	国際的な視点に立った男女共同参画に関する資料の収集と情報提供を推進します	ローズWAMにおいて、男女共同参画に関する情報の収集、活用、提供を行った。 【再掲 施策番号121】	図書等の貸出件数については、コロナでの休館に伴い減少している。時代のニーズに合わせてSNS等さまざまな媒体を通じた情報の発信を検討する必要がある。	継続	継続		人権・男女共生課
		図書や電子資料を使って資料提供・情報提供を行った。	多様な資料を収集し、提供することができた。継続して取組む必要がある。	継続	継続	継続して多様な資料を収集し提供する。	中央図書館
123	情報通信技術(ICT)を活用した男女共同参画資料等を提供します	市ホームページを活用し、男女共同参画に関する情報を提供した。また、男女共生センターローズWAMのホームページでは、利用者の利便性を高めるため、蔵書検索の機能を設けている。また、アプリ「いばライフ」のお知らせ通知機能を活用した情報発信を行った。	今後もICTを活用し、男女共同参画に関する情報の提供に努める。	拡充	継続		人権・男女共生課
		インターネットや商用データベースなどを活用し、資料提供・情報提供を行った。	多様な資料を収集し、提供することができた。継続して取組む必要がある。	継続	継続	継続してICTを活用した、多様な資料や情報を提供する。	中央図書館